

優秀賞

一般建築物の部

建築主：株式会社 大勝
設計：株式会社 篠崎弘之建築設計事務所
施工：株式会社 三幸
所在地：銚子市犬吠埼9 5 7 5 - 2

灯台に習ってリノベーション

犬吠テラステラス



塩害に強く、地域に開かれる透明性を持った外観

(撮影/池本 史彦)



既存RC空間を助長するカフェスペース

(撮影/池本 史彦)



銚子らしい素材で憩える家具計画

(撮影/株式会社篠崎弘之建築設計事務所)

本州最東端、犬吠埼灯台の足元にあつて、閉まっていた旅館が、明るく、のびやかに開かれた場に生まれ変わった。地元の建設会社が土地建物を入手し、5年ほど前からその半分でサービス付高齢者住宅を運営しているが、手付かずに残っていた残り半分の4,000㎡超の2階建て建物を、灯台を訪れる観光客と地元に住む人たちに開かれた施設にリノベーションした。

マルシェ、カフェ、みやげもの屋、一見、道の駅のような施設だが、地元企業と市民が運営を担っている民間施設だ。パン屋の店長は、建設会社の社員だという。元宴会場だった2階大広間は、地元の人たちの口コミで集められた産品がずらりと並ぶ銚子セレクトショップだ。そして外に面した広々としたテラスがいい。漁網製のハンモックベンチが並び、朝日の昇る水平線をのんびり展望できる。

右肩上がりの時代に、RC造・鉄骨造・木造とその場で増改築を重ねてきた典型的な旅館で、鉄骨柱や梁の補強やプレースの取り替えなどを全面的に行なったリノベーションの労作だ。建物内外を問わず、開け放しても塩害に耐えるよう、明るい色でフッ素樹脂塗装している。灯台はいつも真っ白だが、その肌理は頻りに塗装を繰り返してきた時間の積層を伝えている。リノベーション全盛期にあつて、新旧を対比させずにあえて等価に扱う「灯台スタイル」が成功している。

サ高住に入居する高齢者にとつても、このような施設と繋がっていることは魅力だ。高齢者と老朽化した建物が増える地方のニーズに応じて、地元建設業と建築家の知恵が見事に結実している。

(岡部 明子)